

第 2 章 特殊商品売買

学習の要点

1. 遠隔地から仕入れ、まだ手もとに届いていない商品の貨物代表証券（船荷証券・貨物引換証）を受け取ったときは未着品勘定の借方に記入し、貨物代表証券と引換えに商品を受け取ったときは、仕入勘定へ振り替えます。
2. 商品を引き取るまえに、貨物代表証券を売渡したときは、未着品勘定から仕入勘定へ振り替えるとともに、売価で未着品売上勘定（または売上勘定）の貸方に記入します。
3. 委託販売のため商品を積送したときは、原価で仕入勘定から積送品勘定へ振り替えます。
積送に要した費用（運賃・保険料等）は、積送品勘定に含めます。
積送品が売却されたとき、または売上計算書が到着したときは、受託者の売上金額を積送品売上勘定（または売上勘定）の貸方に記入し、その原価を積送品勘定から仕入勘定に振り替えます。
また、委託者の手取金額で売上を計上することも認められています。
4. 積送品に荷為替を取り組んだときは、積送前受金勘定、売上代金の未処分は、積送未収金勘定で処理します。
5. 受託者は、受託品の販売にかかる支出は、立て替え（債権の発生）を、販売代金は預かり（債務の発生）を意味します。債権の発生は受託販売勘定の借方に、債務の発生は貸方に記入します。
6. 割賦販売について販売基準によって処理する場合は、一般の商品売買と同様に商品を引き渡したときに売上を計上します。

〔割賦販売をしたとき〕	割 賦 売 掛 金 ×××	現 金 ・ 預 金 ×××
〔割賦金が入金したとき〕	現 金 ・ 預 金 ×××	割 賦 売 掛 金 ×××

7. 回収基準によって処理する場合は、割賦金が入金した日、または期限が到来した日に売上を計上します。

(1) 対照勘定を用いる方法

〔割賦販売をしたとき〕	割 賦 売 上 契 約 ×××	割 賦 仮 売 上 ×××
〔割賦金が入金したとき〕	現 金 ・ 預 金 ×××	割 賦 売 上 ×××
	割 賦 仮 売 上 ×××	割 賦 売 上 契 約 ×××
〔決 算 時 の 処 理〕	未回収分の原価を期末商品棚卸高に加算します。	

$$\text{未回収金額} \times \frac{\text{原 価}}{\text{売 価}}$$

繰 越 商 品 ××× 仕 入 ×××

(2) 未実現利益を控除する方法

割賦販売をしたときと割賦金が入金したときは、販売基準と同様な処理をします。

〔決 算 時 の 処 理〕 未回収分に含まれている未実現利益を控除します。

$$\text{未回収金額} \times \frac{\text{売価} - \text{原価}}{\text{売 価}}$$

繰 延 売 上 利 益 控 除 ××× 繰 延 割 賦 売 上 利 益 ×××

8. 試用販売で試用のため商品を発送したときは、対照勘定で処理をしておき、得意先から買取りの意思表示があったときに売上を計上します。
9. 予約販売で、予約金を受け取ったときは、予約前受金勘定（または前受金勘定）で処理しておき商品を引き渡したときに売上を計上します。

● 演習コーナー ●

問題 4 ● [未着商品売買]

1. 次の取引を仕訳しましょう。

- (1) 東京商品は、宮崎商店からD商品¥200,000とP商品¥300,000の貨物代表証券を入手した。
- (2) 東京商店はD商品を貨物代表証券のまま、横浜商店へ¥230,000で掛売りした。
- (3) P商品が到着したので貨物代表証券と引き換えに受け取った。

2. 次の取引を仕訳しましょう。

- (1) 当店は、名古屋商店からA商品¥100,000とB商品¥200,000の貨物代表証券を入手した。
なお、商品を注文したときに手付金として¥50,000を支払っている。
- (2) A商品を貨物代表商券のまま¥150,000で、京都商店に売り渡し、代金は掛とした。
- (3) B商品が到着したので貨物代表証券と引換に引き取り、引取費¥10,000は現金で支払った。

1	(1)		
	(2)		
	(3)		
2	(1)		
	(2)		
	(3)		

● メモ ●

● 演習コーナー ●

問題 5 ● [委託販売・受託販売]

1. 次の取引を仕訳しましょう。

- (1) 神田商店は、東京商店に販売を委託し商品¥300,000(原価)を発送し発送費¥3,000を現金で支払った。
 なお、この商品に対し荷為替¥200,000を取組み手取金は当座預金とした。

割引日数 16日 年 7.3%

- (2) 神田商店は、次の売上計算書を受け取った。手取金額で売上を計上した場合と、売上高で売上を計上した場合を考えましょう。

売 上 計 算 書			
総 売 上 高			360,000
諸 掛	取 引 費	1,000	
	保 管 料	3,000	
	手 数 料	18,000	22,000
	差 引		338,000
荷為替立替金			200,000
手 取 金			138,000

- (3) 神田商店は、東京商店から手取金¥138,000の送金小切手を受け取りただちに当座預金とした。

(1)		
-----	--	--

●手取金額で売上を計上

(2)		
-----	--	--

●売上高で売上を計上

(2)		
-----	--	--

(3)		
-----	--	--

● 演習コーナー ●

問題 5 ●

2. 次の取引を仕訳しましょう。

- (1) 前橋商店は、大宮商店から商品（原価¥800,000）の販売の委託を受け、この商品を引き取った。
なお取引費用¥10,000を現金で支払った。
- (2) 前橋商店は、商品全部を¥1,200,000で高橋商店へ掛けで売り渡した。
- (3) 前橋商店は大宮商店に、次の売上計算書を作成し、手取金は小切手を振り出して送金為替を取り組んだ。

<u>売 上 計 算 書</u>			
総 売 上 高			1,200,000
諸 掛	取 引 費 用	10,000	
	受 取 手 数 料	<u>60,000</u>	<u>70,000</u>
	差 引		<u>1,130,000</u>

(1)		
(2)		
(3)		

◀ メモ ▶

● 演習コーナー ●

問題 6 ● [割賦販売]

1. 次の取引について販売基準を用いて場合の仕訳をしましょう。

- (1) 商品¥100,000を10ヵ月月賦で販売した。
- (2) 第1回の月賦金¥10,000を現金で受け取った。

(1)		
(2)		

2. 次の取引について回収基準（対照勘定による）を用いて場合の仕訳をしましょう。

- (1) 商品¥300,000を6ヵ月の割賦払で販売した。
- (2) 第1回の月賦金¥50,000を現金で受け取った。

(1)		
(2)		

3. 次の取引を仕訳しなさい。

水戸商店は商品¥135,000（原価¥100,000）を10ヵ月の月賦で販売していたが、第8回目の月賦金¥13,500を現金で回収した。なお、本日決算をむかえた。ただし当店は回収基準によって記帳を行っている。

- (1) 対照勘定を用いて処理したときの仕訳をしましょう。
なお、未回収分の原価を期末商品棚卸高に加算する仕訳も示すこと。
- (2) 未実現利益を控除する方法で処理したときの仕訳をしなさい。
なお、未実現利益を控除する仕訳も示すこと。

(1)	(未回収分の原価を期末商品棚卸高に加算するときの仕訳)	
(2)	(未実現利益を控除する仕訳)	

● 演習コーナー ●

問題 7 ●

[試用販売]

1. 次の取引を仕訳しましょう。

- (1) 得意先に試用販売の条件で商品¥90,000を送付した。
- (2) 上記商品のうち¥70,000について買い取る旨連絡があった。
- (3) 残りの商品の返還を受けた。

(1)		
(2)		
(3)		

[予約販売]

2. 次の取引を仕訳しましょう。

- (1) 百科辞典全集（10巻 ¥300,000）の予約販売を行い予約金¥300,000を現金で受け取った。
- (2) 第一回引渡分（1巻～5巻 ¥150,000）を引き渡した。
- (3) 第二回引渡分（6巻～10巻 ¥150,000）を引き渡した。

(1)		
(2)		
(3)		

● メモ ●

問題5の1の正解

(1)	積送品	303,000	仕入	300,000
	当座預金	199,360	現金	3,000
	割引料	640	積送前受金*	200,000

•手取金額で売上を計上

(2)	積送前受金	200,000	積送品売上*	338,000
	積送未収金*	138,000		
	仕入	303,000	積送品	303,000

•売上高で売上を計上

(2)	積送前受金	200,000	積送品売上	360,000
	積送未収金	138,000		
	引取費	1,000		
	保管料	3,000		
	販売手数料	18,000		
	仕入	303,000	積送品	303,000

(3)	当座預金	138,000	積送未収金	138,000
-----	------	---------	-------	---------

*「積送前受金」「積送未収金」は、それぞれ「委託販売前受金」「委託販売未収金」でもよい。

*「売上」または、「積送品売上」

問題5の2の正解

(1)	受託販売	10,000	現金	10,000
(2)	売掛金	1,200,000	受託販売	1,200,000
(3)	受託販売	1,190,000	当座預金	1,130,000
			受取手数料	60,000

問題6の1の正解

(1)	割 賦 売 掛 金	100,000	割 賦 売 上	100,000
(2)	現 金	10,000	割 賦 売 掛 金	10,000

問題6の2の正解

(1)	割 賦 売 上 契 約	300,000	割 賦 仮 売 上	300,000
(2)	現 金	50,000	割 賦 売 上	50,000
	割 賦 仮 売 上	50,000	割 賦 売 上 契 約	50,000

問題6の3の正解

(1)	現 金	13,500	割 賦 売 上	13,500
	割 賦 仮 売 上	13,500	割 賦 売 上 契 約	13,500
(未回収分の原価を期末商品棚卸高に加算したときの仕訳)				
	繰 越 商 品	20,000	仕 入	20,000
(2)	現 金	13,500	割 賦 売 掛 金	13,500
	(未現実利益を控除する仕訳) 繰 延 売 上 利 益 控 除	7,000	繰 延 割 賦 売 上 利 益	7,000

問題 7 の正解

[試用販売]

(1)	試用販売売掛金	90,000	試用仮売上	90,000
(2)	売掛金	70,000	試用売上	70,000
	試用仮売上	70,000	試用販売売掛金	70,000
(3)	試用仮売上	20,000	試用販売売掛金	20,000

[予約販売]

(1)	現金	300,000	前受金*	300,000
(2)	前受金	150,000	予約売上*	150,000
(3)	前受金	150,000	予約売上	150,000

*「前受金」は、「予約前受金」でもよい。

*「売上」または、「予約売上」